

# トキワ松学園小学校経営方針及び計画

## 1. 目指す学校像

学園の創立者、三角錫子先生の「鋼鉄（はがね）に一輪のすみれの花を添えて」の建学の精神の下、丸に人の校章の示す通り、「知・徳・体」の調和のとれた円満な人格の育成を目指します。

小学校初代校長の丸山丈作先生の「生徒心得」の「モロモロノ恵ミニムクイル。常ニ善イ事ヲ行ナウ。カラダヲ ツヨクスル。カシコクナル。ヨクハタラク。ムダヲシナイ。」を受けてできた本校の教育目標「健康」「感謝」「親切」「努力」の具現化に向け、教職員が一丸となって努力し、ひとり一人を大切に育成していきます。

## 2. 本校の現状と課題

### (1) 学校全般

- ① 全体的に児童は元気でのびのびしていて、学校の雰囲気はアットホームである。
- ② 児童は男女仲がよく、いきいきとして、学校生活を楽しんでいる。
- ③ 廊下、教室の掲示物がきれいで内容がある。
- ④ 檜の机、椅子、清潔な校舎内など環境がすばらしい。

### (2) 学校行事

- ① 保護者も一緒に活動できる学校行事もあり、親子とも充実感がある。
- ② 子ども達は学校行事を楽しみながら、心の成長の跡が見られる。

### (3) 広報活動・情報提供

- ① 年間8回程の保護者会、高い頻度で発行される学年（学級）通信、授業参観等で学校の様子を知ってもらっている。
- ② ホームページの写真と文章で学校の様子を伝えている。
- ③ 絵本化された学校案内のパンフレットによって、保護者と子どもをひきつける工夫をし、学校の様子を楽しく伝えている。

### (4) 保護者との連携

- ① 「教師と保護者は子育ての仲間」を合言葉に、保護者と教員がそれぞれの立場から子ども達を育てていこうと連携を取っている。
- ② 「親子運動会」「親子読書週間」「親子演劇教室」「もちつき」など保護者もともに参加してもらう行事をもうけ、《共育》を行っている。

### (5) 学校運営

- ① 教育方針が明確である。
- ② 教職員が明るく、熱心に教育活動に取り組んでいる。

### (6) 学習指導

- ① 子ども達が楽しく授業を受けている。
- ② 少人数で、全員参加型の授業である。

#### (7) 学校の安全性

- ① 子ども達の安全性を高める指導や訓練を行っている。
- ② 許可制による携帯電話所持とその管理体制など、学校外の安全面が配慮されている。

#### (8) 本校の特色

- ① 23人の学級編成による、きめ細かな授業及び自分らしさを出しやすい家庭的な雰囲気
- ② 土の校庭と、まとまった休み時間の確保の中で、遊びを通して培われる、心と体の健康、好奇心、創造力、人間関係力
- ③ モジュール制による、教科、学習内容に合わせた効果的な時間の使い方
- ④ 系統的な体験学習による、自然や社会への興味・関心の深まりや〈生きる力〉の育成。
- ⑤ 5年からの進学、進路指導によって、特に男子の出口の問題にも一定の期待に応えている。しかしながら、受験一辺倒ではなく、根本にあるのは、6年生の今を大事にさせる指導である。

#### (9) めざす教育活動

- ① ひとり一人の自分らしさを大事にした学級・学校づくり
- ⑥ 確かな基礎学力とひとり一人の優れた能力の引き出しと伸長
- ⑦ 課題を見つけ、自ら学び、考え、主体的に判断・行動し、よりよく問題を解決しようとする能力の育成
- ⑧ 自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心の育成
- ⑨ たくましく生きていくための健康や体力づくり

### 3. 学校経営目標と方策

#### (1) 学校教育目標の具現化

- ① 「心も体も健康な子」の育成
  - ア. 校庭での外遊びを奨励し、教員もできる限り一緒に触れ合う。
  - イ. 朝のマラソンを全校児童、教員と行う。
  - ウ. 基本的な生活習慣の確立のために、家庭と連携する。
- ② 「感謝の心を素直に持ち、それを表現できる子」の育成
  - ア. いろいろな学校行事のめあての一つに、感謝の心を育てることを位置づけ、児童が感謝の気持ちを意識して活動できるようにする。
  - イ. 授業の始まり・終わりの「お願いします」「ありがとうございました」の言葉を意識づける。
  - ウ. 社会科見学や出前授業などの折に、お礼の手紙を書いて感謝の気持ちを深め

るようにする。

- エ. 下級生の世話をしてくれる上級生に対して、感謝の気持ちをもたせ、それを素直に伝えられるようにする。
- オ. 毎日お弁当を作ってくれる保護者に感謝する気持ちを持たせ、それを伝えられるようにする。
- カ. 朝礼の校長訓話の中で、折りに触れ、感謝の大切さについて話す。
- キ. 小さなことでも、当たり前と思わずに感謝することを、折りに触れ、学級指導や道徳の中で教えていく。
- ク. 自分が生きていくには、自分の知らないたくさんの人に支えられていることを折りに触れ、学級指導や道徳の中で教えていく。

### ③「人に親切にできる子」の育成

- ア. 毎日のクラスの生活の中で、親切にした児童の行動を児童同士に発表させ、その行動をみんなで誉めたたえ、奨励していく。
- イ. 宿泊行事や球技会など、みんなで協力しなければならない学校行事や活動において、そのめあての一つに、友達に親切にする気持ちを育てることを位置づけ、児童が親切にする気持ちを意識して活動できるようにする。
- ウ. 上級生と下級生など複数学年が混ざった班や普段の遊びの中で、下級生に親切にすることの喜びを味あわせる。

### ④「努力する子」の育成

- ア. 学期や一年の初めに、目標を決めさせ、それに向かって努力させる。
- イ. 漢字検定や算数検定など、個々の目標級に向け、積極的にチャレンジさせる。
- ウ. 授業やいろいろな活動などにおいて、少し上の課題や問題を設定することによって、努力をすれば報われる経験をたくさん積みませ、努力することの喜びを味あわせる。
- エ. 高学年では、中学受験の勉強を経験させることによって、高い目標に向かって努力することの大切さを感じさせ、将来に向けての礎とする。

## (2) 中期的目標と方策

### ① 社会に評価される学校づくりの推進

- ～在校生とその保護者の満足度を高めるために、教職員ひとり一人の能力を生かすべく組織づくりと教育内容の充実の推進。
- ～学校のよさを園児とその保護者に知ってもらうための、真摯な広報活動のさらなる推進
- ～近隣の人達に愛される児童・学校との関係を作るために、近隣からの声は大事にし、地域と関われる道をさぐる。

### ② ひとり一人に向き合う教育の推進

～ひとり一人のよいところを見つけ、伸ばしていくために、家庭との連携の推進や教師が子どもと関われる体制の確保の推進。

～小さな学校ならではの、教職員全員で全児童を見守っていくという教職員の協力関係の推進。

③ 「生きる力」の推進

～子どもを中心とした、子どもが主体的に関われる活動や授業への変革の推進

④ 基礎的、基本的な知識・技能の習得の推進

～モジュールの時間を効果的に使う。

⑤ 思考力・判断力・表現力（言語力）等の育成の推進

～全教科における、知識・技能を活用する学習活動（レポート・新聞作成、論述文など）、全教科における言語活動の充実。

⑥ 道徳教育の充実

～公共の精神、生命、伝統や文化の尊重など、強調されたものやその他のものを研究会のテーマとして、数年かけて取り組んだり、それぞれの工夫を共有したりする。

⑦ 日本の伝統や文化に関する教育の充実

～国語や社会における授業での工夫を、教科会などで、教員間で共有する。

⑧ 防災、防犯対策において、安心して通える学校

～地震対策、不審者対策、交通安全の充実

#### 4. 重点目標

(1) 本校の伝統を重んじながら、在校生とその保護者に満足してもらえる学校

① 安心して通える学校づくりをさらに進める。

ア. 防災・防犯対策を点検し、充実を図る。（特に地震対策）

～安全対策委員会の活動を中心にして。

イ. 交通安全教育・交通マナーの指導を強化する。

② 一人ひとりに確かな力（学力）をつける。——新課程を踏まえて

ア. 基礎的、基本的な知識・技能の習得の推進

～モジュールの時間活用などにより、反復練習を大事にするなど。

イ. 思考力・判断力・表現力の育成の推進

～全教科において、知識・技能を活用する学習活動の充実、言語活動の充実。

ウ. 6年生においては、幅広い進路を選択できるように、受験にも対応できる力の充実

～進学指導委員会の活動を中心にして。

③ 一人ひとりを大事にする教育の推進

ア. 子どもと向き合う時間の確保と、家庭との連絡を密にして「教師と保護者は子育ての仲間」の理念を深める。

イ. 教職員全員で全児童を見守っていくという姿勢の推進。

～小さな学校のよさを生かす。

④ ひとり一人が気持ちのよい生活を送れるように生活指導を充実させる。

ア. 学校教育目標の具現化の充実

イ. 道徳教育の充実

(2) 本校の伝統を重んじながら、社会（地域、卒業生、幼稚園・幼児教室、未就学児童をもつ保護者）に評価される学校

① 在学保護者に評価される学校づくりの推進による、口コミ等による評価の高まり

② 広報活動の種類と内容の充実化による、学校への温かい評価の高まり

③ 説明会、幼稚園訪問、学校見学の充実化による、学校への温かい評価の高まり

④ 近隣の人達、町内会を大事にし、その助言、苦言に真摯に対応する姿勢の充実による、学校への温かい評価の高まり

(3) 各教科の重点目標

① 国語

ア. 話を聞く態度

・相手の目を見て、注意深く話を聞く姿勢を身につける。

イ. 自分らしさを生かした表現力

・句作、詩作、作文、スピーチなどの活動を通して、自分らしさを生かした表現力をつける。

ウ. 漢字を読み書きする力

・漢字の進級テストを行い、漢字を確実に身につける。

② 社会

ア. 調べたことを自分らしい方法で表現する力

・資料の活用や具体的体験からの学び

イ. 仕事に携わる人々の工夫や努力への理解

・暮らしをささえる様々な仕事を通して。

ウ. 実生活と結びつけた基礎知識

・進級テストの内容を一時的に取り上げるのではなく、継続的な学習の積み重ねとして身につける。

③ 算数

ア. 自分の考えを表現でき、説明できる力

・頭の中だけで考えるのではなく、他の子の意見を自分なりの言葉に置き換えたりして、多様な考え方を身につけようとする。

イ. 課題を最後までやりとげられる態度

- ・自分がいきづまったときは、他の子の意見を聞いてもう一度粘り強く考えてみる。

④ 理科

ア. 豊かな五感

- ・校外学習を積極的に取り入れたり、実験、観察を毎回行い、経験を積む。

イ. 日常生活への興味関心

- ・日常生活のあらゆる場面で興味を持ったことに対して、レポートを書き、発表する。

ウ. 愛情をもって育てる心

- ・飼育、栽培を通して、愛情をもって育てる心を育む。

⑤ 生活

ア. 自分のことは自分でできるようにする態度

- ・集団（家族・学級・学園など）の一員としての役割を果たせるようにする。

イ. 自分の生活を、身の回りの人々・自然・社会（地域）・季節の変化などと結び付けて考えるようにする態度

- ・七夕、もちつきなどの日本の伝統行事を体験する。

ウ. 様々なことに気付きをもつ態度

- ・動植物と繰り返し、かかわる。

⑥ 音楽

ア. 自分の思いをもって表現する力

- ・曲にふさわしい表現を考え、自ら工夫する力を養う。
- ・学校行事である音楽発表会で、聴く人を意識した演奏を経験する。

イ. 生活の中で音楽を楽しむ心

- ・音楽あそびや合唱・合奏を通して、音による友達との関わりを楽しむ。
- ・季節の歌、行事の歌を楽しむ。

⑦ 図画工作

ア. 自分自身を創造的に表現する力

- ・思いのままに、自分を表現できるような、基礎基本となる知識と技術を身につける。

イ. 五感を働かせて感じる心

- ・季節感を大切に、様々な素材に触れる。

⑧ 家庭

ア. 家族の一員として、生活をよりよくしようとする実践的な態度

- ・ワークシートを使って、今の生活を振り返り、思考力・表現力も育てる。

イ. 実習の学習を、生活に生かせるようにする態度。

- ・裁縫実習、調理実習など安全面に注意して、生活に生かす。

⑨ 体育

ア. 持久力

- ・準備体操の徹底とマラソン・縄跳びの実施

イ. 基礎体力

- ・体力テストや水泳授業などにより、体力の向上と運動への意識を高める。

⑩ 道徳

ア. 学校目標「健康・感謝・親切・努力」達成への推進

- ・朝礼での校長訓話、月目標の設定、各行事での学校目標の意識化

イ. 基本的な生活習慣、決まりの確立

- ・年度初めの児童手帳の活用

⑪ 英語

ア. 聞く力・話す力

- ・あらゆる場面で英語を使い、臆することなく外人ともコミュニケーションをとれるようにする。

イ. 日本とは異なる国の文化への興味・関心

- ・ハロウィン、クリスマス、バレンタインデーなどの文化を紹介し、楽しむ。